

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立意東小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習	干し柿について調べよう!	畑地区干し柿組合の皆さん
ねらい	東出雲の特産物である干し柿作りについて調べることを通して、地域の自然の豊かさや人々の思い、知恵に気付き、地域への愛着を深める。		
<p>1 取組の概要</p> <p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科『働く人とわたしたちの暮らし』～農家の仕事～ <p><2学期></p> <p>10月：干し柿農家の方に話を聞こう…干し柿農家の方に来校していただき、お話を聞いた。 干し柿の作り方や製法へのこだわり、工夫などについて学んだ。</p> <p>11月：干し柿農家に見学に行こう …皮むきの様子や柿小屋の様子、使用している道具などを実際に見学したり、疑問に答えていただいたりした。</p> <p>干し柿を作ろう …自分達でも実際に干し柿を作ってみることで、干し柿作りが手間をかけて作られていることを実感したり、おいしさを味わったりした。</p> <p>12月：干し柿作りについてまとめよう</p> <p>1月：チラシを作ろう …干し柿のおいしさや魅力を知ってもらうために、チラシを作成した。</p> <p>2月：発表会をしよう …グループごとにまとめたものを、2年生や保護者に向けて発表後、チラシを手渡し、干し柿のおいしさをPRした。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に畑地区干し柿生産組合の方から話を聞いたり、見学に行ったりすることで、干し柿農家の方の思いや大切にされていることなどを知る。 ・実際に干し柿作りをしてみることで、できるまでに様々な工程を経ていること、気を配っていることなどを体感する。 ・ゴールを『干し柿のすてきなところを2年生や保護者に伝える』とし、干し柿作りですごいと思ったことや干し柿のおいしさを中心にまとめる。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語で学習した『メモをとりながら話を聞こう』を生かし、干し柿農家の方の話を聞きながら、大事なことを簡潔にメモすることにつなげる。 ・干し柿について調べたことを整理、分類できるように、KJ法を用いる。 ・伝えたいことを分かりやすく伝えられるようにするために、構成をはっきりさせたうえで、発表原稿を作る。 			

3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

- ・実際に干し柿農家に見学に行ったことで、干し柿作りの工程の多さや工夫、大変なところに気づき、まとめに表すことができた。
- ・干し柿が東出雲町の特産物であることを知らない児童もいたが、最後の発表の際には、干し柿にキャッチコピーをつけておいしさや農家の方の思いをPRした広告を作り、干し柿の魅力を2年生や保護者に伝えようとしていた。
- ・干し柿を実際に作って食べることで、干し柿1つを作るのに大変な手間や時間がかかること、干し柿のおいしさなどを実感した。まとめや広告の中にも、実感したことを伝える表現が多数見られた。



（学力育成の視点から）

- ・国語でメモの取り方を学習してから、農家の方の話を聞く場を設けた。箇条書きや短い言葉で記したり、矢印を使ってまとめたりする姿が見られた。
- ・グループで、調べたことをKJ法を用いて分類、整理する場を設けた。整理したことを、まとめる活動に生かすことができた。
- ・干し柿について調べたことを、2年生や保護者に向けて伝える場をもった。調べたことをグループごとに、プレゼンテーションや劇、ニュース、新聞などの形にまとめ、発表した。分かりにくいような言葉を言い換えたり、伝え方を工夫したりしながら伝えることができた。



4 課題や今後の展望

- ・干し柿を実際に作る活動は、農家の方から聞いたことを体感するのにとても有効な活動であった。今後も継続していきたい。
- ・社会科の農家の仕事に関する学習を1学期に行ったため、干し柿の学習との期間が空いてしまった。社会科の単元を入れ替えて干し柿の時期に合わせれば、社会科の学習と総合的な学習とを、さらにリンクさせることができたと思う。